

ひよ



巣立ちの季節

二月二十六日(月) 日吉住民センターにおいて、卒業を控えた高校三年生(日吉中学校卒業生)を対象に「巣立ちの青春サポート教室」を開催しました。

この教室は、高校を卒業して春から新しい生活を始める前に、自分を守るために必要な知識を養い、少しでも安心して新生活を送ってもらうために開催している教室で、今回は八名(対象者十一名)の参加者で実施しました。

始めに、役場保健介護課の岡崎あずさ保健師から「健康管理」についての講義があり、続いて山内産婦人科助産師の植村礼子さんから「安全管理・将来設計」について講義を受けました。その後、生活研究協議会「日吉夢工房」のみなさんにご協力いただき、調理実習を行いました。中には普段から家で手伝いをしているのか手慣れた手つきで料理をする子もいる、一人暮らしでもやっていけるなど感心させられました。

最後に作った料理を食べながら、参加者みなさんで自己紹介等をして、親睦を深めていました。

来年の夏の成人式で、成長したみなさんに会えるのを楽しみにしています。

紙の鬼の講演会

二月五日(月) 日吉中学校図書室で、紙の鬼紙漉き新之丞実行委員会主催の紙漉き新之丞講演会が開催されました。講師には、新之丞と縁の深い高知県の町から町田好徳さん(元紙の博物館館長)、尾崎敏明さん(新之丞祭実行委員長)、黒田章雅さん(新之丞祭実行委員会副委員長)の三名をお招きし講演をしていただきました。

当日は、雪が舞うあいにくの天気ではありませんでしたが、日吉中学校教職員と一・二年生生徒、日吉小学校教職員と五・六年生児童のほか、各種団体、地域の方々など総勢六十四名の参加者がありました。

講演では、最初に尾崎さんが新之丞の生涯について、わかりやすく紙芝居で説明していただき、児童生徒のみなさんも新之丞がどういう人物で、どういう生涯を送ったのか知ることができたと思います。次に、町田さんによる講演では、実際に土佐典具帖紙を手に取り、その紙の品質、草木染で染めた色に感動しました。

遠路荒天の中、いの町から来ていただきました講師のみなさん本当にありがとうございました。



紙の鬼の四百二十二年祭

二月十七日(土) 高知県の町成山に於いて、「土佐七色紙の里・新之丞422年祭」式典が執り行われ、井上副町長をはじめ、日吉地区から「紙の鬼紙漉き新之丞実行委員会(委員長・出口篤夫さん)」のメンバーや、新之丞と縁のある日向谷分館からも大勢の方が出席されました。

式典会場となった仏ヶ峠は、新之丞記念碑が建立されており、新之丞が日向谷村への帰りに斬殺された場所ともいわれているところです。式典には、いの町・鬼北町、高知県の製紙業界の方など大勢の参加者があり、各団体等の代表者が玉串奉奠をし、全員で新之丞の供養を行いました。

式典終了後は、会場を移し交流親睦会が開かれ、いの町と鬼北町との交流を図ることができ、別れる時には「来年は鬼北町に来てください。」と硬い約束を交わしていた人もいました。



玉串奉奠する出口篤夫実行委員長さん



ちょっと気分の良くなった？城平正文さん

日吉夢産地で愛を叫ぶ!

二月十一日(日)に、「第三回愛ある鬼嫁コンテスト 鬼北町で愛を叫ぶ! 鬼嫁愛の大声コンテスト」が道の駅日吉夢産地で開催されました。今回で三回目を数えるこのイベントですが、初めて日吉地区で、また屋外での開催となりました。当日は、小雪が舞い強風吹き荒れる寒い天気になりましたが、多くの来場者の中で向かい風にも負けず、参加者は大きな声で愛を叫んでいました。

また、「日吉夢産地あったかフェア」も開催され、えひめスイーツコンテスト2017和菓子部で金賞を受賞した北宇和高校生徒が考案した「ゆずぎん」も数量限定で販売されていて、ニュースでも取り上げられている有名な和菓子とあって、あっという間に完売になっていました。

各部門グランプリ受賞者

【鬼嫁部門】松澤 美治佳さん

【鬼嫁の夫部門】古川 真道さん

【鬼嫁の子ども部門】武田 心さん



愛を叫ぶ赤鬼!



来場者も愛の叫びに興味津々

ヨガ教室

一月二十一日(日) 日吉住民センターにおいて、ヨガ教室を開催しました。

このヨガ教室は、平成二十七年年度以来の開催となり、講師には久保田加代先生(愛治)をお招きして開催しました。

受講されたみなさんは、過去にヨガ教室を受講された方から初心者の方まで、少数ではありましたが色々な方の参加があり、普段使わない筋肉を動かしたり、ヨガ独特のポーズをとったりと、大変ながらもとても良い運動になったようでした。

なお、ヨガ教室は三月末まで開催となります。



ヨッ！ バランスを取るのが難しそうです



松浦先生に教わりながら熱心に絵手紙を作成する受講者

二月十五日(木) 日吉いきいき講座「ことば絵手紙教室」を、講師に松浦明朗さん(奈良)を招いて約三年ぶりに開催しました。今回受講者は八名と少ない人数ではありませんでしたが、二月、三月での全四回を松浦先生に指導を受けながら、みなさん思い思いの絵手紙を作成し、楽しい時間を過ごされました。

前回受講された方は、その時に作成した絵手紙を持って来られていて、「これを書いたんよ。」と絵手紙を嬉しそうに見せていました。

今回受講された人から「とても楽しかったよ。」と毎回のようについて帰られる方もおられ、受講者は少なかったけれど開催して良かったなと思えた瞬間でした。

誰に書こうかな？

しいたけ&柚鬼媛まつり

しいたけまつり&柚鬼媛まつりが三月十一日(日) 道の駅日吉夢産地で開催されました。

会場では色々な催しがあり、体験展示コーナーでは、しいたけまつりとあつて椎茸植菌体験や植菌済み原木販売のほか、しいたけの掴み取りや林産物展示販売などがあり、長蛇の列ができていて、原木販売等は早々に売り切れになるなど大盛況でした。

また、食のコーナーには、しいたけのはさみ揚げや炭火焼コーナーでのしいたけの試食、きじの焼き鳥のほか多くの出店があり、こちらも大いに賑わっていました。

購入された原木を台車に乗せて運ぶ多くの人の姿や、買い物袋を両手に下げた人など、皆さん笑顔で楽しい時間を過ごして会場を後にしていました。



椎茸原木を買うための行列



大勢のお客さんと賑わう食のコーナー



いよいよ 鬼の地獄道に スタート！



「第三回鬼の地獄道デュアスロン in Hiyooshi」を鬼北町の方々の協力で、無事に終えることができました。ありがとうございました。

約百名の参加者があり、その中には全国大会や国際大会に出場経験のある方もいらっしゃいました。

自然豊かな鬼北町に遠方から大勢の人が訪れ、少しでも地域活性化につながるお手伝いが出来れば幸いです。そしてイベントが、皆さんの自慢になるように頑張ります。

「鬼の地獄道デュアスロン in Hiyooshi」をこれからもよろしくお願ひします。

鬼の地獄道デュアスロン

実行委員長 野村 孝仁

鬼の地獄道を疾走

発行者 日吉公民館 発行日 平成30年3月25日 住所 鬼北町大字下鍵山四六三 電話 0895-44-2211 Fax 0895-44-2870

新着図書案内

日吉公民館図書室に
新しい本が加わりました。



天才 藤井聡太
中村 徹
松本 博文



命もいらす
名もいらす
北 康利



おらおらで
ひとりいぐも
若竹 千佐子



盤上の向日葵
袖月 裕子



アナログ
ビートたけし



銀河鉄道の父
門井 慶喜

体幹リセット ダイエット	すぼらヨガ	日本の知恵くすりを 暮しに	さよなら、田中さん	いのち	おちやめに 100歳ー寂聴さん	貴 の 乱	蒼 い 炎 II	雪 の 鉄 樹	西 郷 の 首
			死ぬまでに行きたい！ 世界の絶景	いのちの車窓から	ひびきの たからもの。	伝え方が9割②	伝え方が9割	妻に捧げた1778話	せつない動物図鑑



そのほかの書籍

日吉地区のための「日吉夢基金」

日吉地区の地域振興基金にご寄付をお願いします。

基金の趣旨

日吉地区住民の生活文化の振興、社会福祉の増進及び青少年の健全育成を図るための事業資金に充てるために創設したものです。

基金活用事業

- 1 日吉公民館主催事業
- 2 日吉地区青少年の健全育成のための事業
- 3 日吉地区区長会長が主催する事業
- 4 日吉地区住民の福祉に関する事業

公民館主事になって一年が経ちます。今年度もみなさんのご協力により大きな事故もなく公民館事業を行うことができました。ご協力ありがとうございました。

編集後記

日吉の人口
2月末人口
1,288人
(△11人)
増減は前回比
男 605人
女 683人
669世帯

四万十街道ひなまつり開催中

今年も、3月24日(土)から4月3日にかけて「四万十街道ひなまつり」を開催しています。下鍵山商店街に野菜雑や石雑など手作りのお雑様が並びます。また、明星草庵には、日吉盆栽会のみなさんが田園風景をモチーフに製作した座敷雑を展示しています。色々なお雑様を眺めながら下鍵山のまちをゆっくり散策してみませんか。